

多摩区まちづくり協議会 まちづくり TOPICS

多摩区まちづくり協議会が内外で行っている
さまざまな活動の紹介や、身近なまちの情報
などを、トピックス仕立てでお届けします！

[まち協ホームページ]
<http://tamaku-machikyo.com/>

多摩川のアユ釣り

記事 井上

アユ釣りは、毎年6月1日（日の出）から解禁になります。多摩川も釣り人に人気があります。アユは清流の水辺を好んで棲むそうですから、多摩川の水も綺麗になったことが分かります。多摩川のアユは身が締まっていて、焼いて食べるのが一番ですが、煮ても美味しいそうです。地元の料理店では地産の食材にしています。東名高速の下あたりがよく釣れるそうで、10月中ごろまで楽しめます。あなたもデビューしてみませんか。川岸にずらり並ぶアユの釣り人



旧津久井道

記事 鈴木

「旧津久井道」は江戸時代、炭や柿を江戸城下へ運ぶ道として機能しておりました。また、製造が盛んで、下駄作り、干菓子作り、提灯作りなど、種類豊富な「職人の町」でした。現在は区画整理事業が進み、商店街の様子は変わりつつありますが、新しくお店を始める人も多く、今後さらに活気ある街になっていくのではないのでしょうか。



旧津久井道に今も残る「柏屋」

登戸の劇団「辻シアター」

記事 田代

1982（昭和57）年、登戸に「人情喜劇芝居のオリジナル作品を無料で提供する」劇団を、俳優・辻三太郎さんが立ち上げました。最近の活動では、3月に市民館で開催された「たま学びのフェア」にて、多摩区の人たちと芝居を作ることで、地域の活性化にな



辻シアターの劇団員の練習風景

ればと、芝居に興味がある子どもからシニアの方まで、団員の募集をしました。芝居の面白さを伝えるため、演劇をインターネットの動画サイトなどに投稿してくれる応援者も募集中！とのことでした。

赤ちゃんのお誕生、おめでとうございます！

記事 古川

「川崎市のこんには赤ちゃん訪問」は、子育て家庭の孤立を防ぎ、安心して子育てができるように、生後4ヶ月までの赤ちゃんのいる家庭を全戸（新生児訪問を除く）訪問する事業です。「こんには赤ちゃん訪問員養成研修」を受けて各区に登録された、市長委嘱のボランティアが訪問します。市や区が行っている子育て支援情報のお届け、地域の子育てサロンなどを紹介、子育て経験のアドバイスなどを通して、ママさんと赤ちゃんの子育てを見守り応援する地域づくりを目指しています。



赤ちゃん家庭を訪問します

多摩区のオススメイベント情報（4月～6月）

4/4（土）	多摩川桜のコンサート
4/5（日）	桜まつり（二ヶ領用水宿河原堀）
4月中旬 GW	鯉のぼり（五反田川）
5/20（水）	たまアトリウムコンサート
5月中旬 6月初旬	生田緑地ばら苑一般開放
6/1（月）	アユ釣り解禁
6/21（日）	長尾の里あじさいまつり

※ イベントの内容は変更になる場合があります。

多摩区まちづくり協議会 活動発表会

多摩区を元気にするまちづくりカッドウを紹介します！



広げようみんなの力！多摩のまちづくり

平成26年度の「まちカツ!」を、2月11日、多摩区総合庁舎11階会議室で開催しました。これまでに最大の参加者があり、会場は終始賑やかな雰囲気がありました。以降は「まちカツ!」についてご報告をいたします。



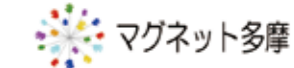
本多 正典会長

多摩区まちづくり協議会の第4期前半活動報告

第4期は、公募委員が増え（31人）、会員約60人の約半数が女性および60歳以下という構成で、ミッション（① まちの課題抽出とその解決 ② 中間支援的機能の充実）の実現に向けて活動中です。

【ミッション① まちの課題抽出とその解決】

ミッション①の実現に向けた主な担い手はプロジェクトです。昨年8月に「マグネット多摩」、11月には「たまむすび～あそび場支援プラットフォーム～」が立ち上がりました。3期から継続の「多摩エコスタイル」とあわせ、現在3プロジェクトが活動をしています。（P4、5で紹介）。プロジェクト活動の他に、会員のスキルアップワークショップや全体研修も行いました。



【ミッション② 中間支援的機能の充実】

ミッション②は、「まちカツ!」の一環であるポスター展やポスターセッション、学びの場を提供する「多摩★まち大学」、活動発表と交流の場を提供する「多摩★まち Cafe」、広報誌、さらには各プロジェクトでも市民活動団体の皆さまを応援する活動を取り入れ、中間支援的機能の拡充を図っています。主な活動を次に示します。



多摩★まちカフェ 活動

団体の情報発信と区民の皆さまを含めた交流の場として、夏休みに子どもたちも参加した歴史カフェを開きました。また、この春休みには折り紙を使って世代間交流する「カフェde折り紙」を開きました。



他都市視察研修

コミュニティ再生術と銘打って、市能工商、自治会加入率100%、孤独死ゼロという立川市大山自治会と新しい都市型農園（貸農園、交流広場、ポニー乗馬他）のくにたちはたけんぽを訪問しました。自治会関係者など41人が参加者しました。



多摩★まち大学

団体向け「市民活動のための集客術」、一般向け「楽しく始める地域活動のコツ」、地讃人による「40代からはじめる地域活動のススメ」の講座を開きました。



広報誌「私たちのまちづくり」

年4回発行しました。手に取っていただけの広報誌をめざし、紙面の構成を工夫し、魅力的な風景写真など委員がレポートとなって取材を通して生の情報を発信するように努力をしました。



第4期後半のまちづくり協議会の活動に向けて

第4期後半の活動は、まち協の独自性、存在感のアップに結び付くような活動として、「プロジェクトの活性化」と「中間支援的機能の拡大」を考えています。

前者については「①若いパワー／女性パワーを活かした新しい活動に挑戦」「②地域に密着した課題の解決に向けた活動」「③色々な世代の地域デビューと外あそび支援活動」。

後者については「①広報誌やホームページによる活動団体の情報発信の支援強化」「②多摩★まち大学、多摩★まちカフェの充実」などを進めていきます。



4期後半も精力的に活動します